

～ STOP！未成年飲酒 ～

関西大学学生が未成年者飲酒防止啓発チラシを配布

日時: 4月5日(木) 8:20～、 12:10～ 場所: 関西大学千里山キャンパス正門付近

関西大学学生センターでは、4月5日(木)千里山キャンパスにて、下記のとおり新生に向けて未成年者飲酒防止啓発チラシを配布します。

特定非営利活動法人ASK(アスク)が2010年から実施している「緊急 全国学生アルコール・ハラスメント(アルハラ)WEBアンケート」(別添参考データ参照)によると、アルハラ経験者(または、現場に居合わせた人)211人のうち180人が、「クラブ・サークル等課外活動や友人・ゼミなどの飲み会、もしくは新歓行事において」と回答しており、全体の約85%に相当します。

本学では、このような現状を受け、新生を迎えるこの時期に未成年者の飲酒による事故が起こらないよう呼びかけを行うことといたしました。当日は、本学学生・職員のほかに、大阪府小売酒販組合吹田支部などの協力を得て、延べ約70人が、2,000枚の啓発チラシを関西大学正門付近にて配布するとともに、大学前の飲食店に対しても、協力を呼びかけるチラシを配布します。

記

- 1 日 時 4月5日(木) 8時20分～8時50分、 12時10分～12時50分
- 2 場 所 関西大学千里山キャンパス 正門付近
大阪府吹田市山手町3-3-35(阪急千里線「関大前」駅北改札から徒歩約5分)
- 3 主 催 関西大学

以 上

【添付資料】

- 1 配布チラシ見本(学生配布用・店舗配布用)

【参考データ】

- 1 2011年「緊急 全国学生アルコール・ハラスメント(アルハラ)WEBアンケート」
<特定非営利活動法人ASK(アスク)実施>
- 2 急性アルコール中毒などによる死者数 <特定非営利活動法人ASK(アスク)まとめ>

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 石田、小野

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-0201 Fax. 06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

STOP 未成年飲酒

STOP アルハラ

STOP 飲酒運転

**過去10年間で19名の大学生が、
急性アルコール中毒で命を落としている。
そのうち10名が、未成年者だ。**

【過去に他大学で発生した未成年飲酒による事故の事例】



右の例のほかにも、飲酒による事件・事故は毎年数多く発生しています。飲酒運転による交通事故は大学生活への支障、さらには金銭トラブルなど、社会性への悪影響をはじめ、あなた自身の人生を破滅させることがあります。特に、未成年者の飲酒においては、法律上で禁止されています。

ケース①

2009年3月、午後7時からコンパが始まり、男子8人と女子21人（うち1年生は10人）で、ビールや焼酎、チューハイ、ジュースなどを飲んだ。10時ごろにゲームを始め、負けた者が酒を数回飲んだ。男子1名（1年生）が翌午前0時ごろ酔いつぶれて吐いたため、布団に寝かせた。午前9時過ぎ、布団の中でぐったりしているのをほかの学生が発見。吐いたものが口の周りであったため、3人で近くのトイレまで担ぎ洗い流そうとしたが、呼吸をしていなかった。

ケース②

2008年3月、午後10時ごろ、先輩の3年生男女8人が、2年生男子13人を一列に並べ、ペットボトル4Lの焼酎の回し飲みを指示。ひと回りしても飲みきれなかった残りの500mlを飲み干した男子1名（2年生）が、気分が悪くなって意識を失ったが翌朝まで放置に近い状態だった。午前7時半頃、非常に大きいびきをかくなど様子がおかしいため、病院に運ぼうと軽自動車のリアシートに運び入れた際、呼吸が弱くなり119番。病院に運ばれたが手遅れだった。

これらの事例は氷山の一角です。
イッキ飲みで、失うものの大きさを実感してください！
あなたの命は、あなただけのものではありません。

特定非営利活動法人ASK (アスク)

(アルコール薬物問題全国市民協会) HPより

URL : http://www.ask.or.jp/ikkialhara_inochi.html

「昔からの伝統で飲ませただけ」
「まさか死ぬとは思わなかった」
「酔っていて、よく覚えていない」
「イッキじゃなきゃ、いいんでしょ」
「こいつは酒に強いから大丈夫だ」
「酔って寝てるだけかと思った」
「どうせ、みんな飲んでるでしょ」
「その場の雰囲気です…」 etc...

必ず覚えておいてほしい。

仲間の命が失われてからでは、

遅いのだ。。

関西大学学生センター

未成年者の飲酒防止にご協力願います

年齢確認等の実施は、法律により定められています。

未成年者に対して、酒類を販売・供与した場合も罪となります。

関西大学では、全学生に対して「未成年者の飲酒行為の禁止」について日々指導及び啓発を行っているほか、「適正飲酒」に関するセミナーや講演を実施することで、未成年者の飲酒防止について、全学的に取り組んでおります。

年齢確認の徹底

にご協力を、お願い致します。

日本では、「未成年者飲酒禁止法」により、未成年者が飲酒することを禁止しています。

関西大学学生センター



イッキ飲み防止キャンペーン
アルハラWEBアンケート
2011年度集計

2010年度より『緊急 全国学生アルコール・ハラスメント(アルハラ)WEBアンケート』を開始。チラシやHPにアドレスやQRコードを掲載したところ、2011年12月13日までに298件(有効回答数)の回答が寄せられましたので、集計結果を報告します。

一年以内に「アルハラに遭った」「アルハラかどうかはわからないが、場の雰囲気や飲まされたことがある」を合計すると53%。この数字はキャンペーンに興味のある層からの回答であることを勘案すると、実態はこれをかなり上回るものと想像できます。また「アルハラの際に居合わせたことがある」は66%、「アルハラをしたことがある」は16%でした。場所としては「クラブ、サークル等課外活動の飲み会」、状況は「酔ったうえでの迷惑行為」「イッキ飲ませ・飲めない人への配慮を欠くこと」が多いようです。

「アルハラを断ることができるか」との問いには、33%が「断れない」27%が「わからない」と回答し、「自分だけが断って空気を読めないと思われたくない」「周りのみんなも飲むので自分だけは断れない」が理由の上位を占めました。

◆Q1: 性別

男性:155人	女性:143人	未回答:0人
---------	---------	--------

◆Q2: 所属 ◆Q3: 学年

大学1年生:103人	専修・専門学校1年生:1人
大学2年生:66人	専修・専門学校2年生:4人
大学3年生:55人	専修・専門学校3年生:2人
大学4年生:37人	高校生:1人
大学その他:5人	大学教員:1人
大学院:5人	その他:15人
短大2年生:3人	-

◆Q4: 都道府県

北海道:20人	埼玉:11人	愛知:15人	岡山:2人	大分:1人
青森:7人	千葉:5人	岐阜:5人	京都:17人	長崎:1人
岩手:1人	東京:41人	三重:4人	広島:3人	福岡:7人
宮城:7人	栃木:2人	滋賀:6人	徳島:5人	熊本:2人
福島:8人	神奈川:29人	大阪:26人	愛媛:1人	沖縄:3人
山形:2人	新潟:6人	兵庫:12人	香川:1人	不明:4人
秋田:5人	石川:5人	島根:3人	宮崎:3人	-
茨城:8人	福井:5人	和歌山:1人	佐賀:1人	-
群馬:4人	静岡:2人	奈良:5人	山口:2人	-

◆Q5: 一年以内にアルハラに遭ったことがありますか? N=219

ない: 141人(47%)	ある: 82人(28%)	アルハラかどうかはわからないが、場の雰囲気や飲まされたことがある:75人(25%)
------------------	-----------------	---

◆Q6: 一年以内にアルハラの際に居合わせたことがありますか? N=219

ない: 100人(34%)	ある: 20人(7%)	アルハラかどうかはわからないが、場の雰囲気や飲まされているのを見たことがある:66人(22%)
------------------	----------------	---

◆Q7: 一年以内にアルハラをしたことがありますか? N=219

ない: 247人(83%)	ある: 20人(7%)	アルハラかどうかはわからないが、場の雰囲気や飲ませたことがある:26人(9%)	無回答: 5人(1%)
------------------	----------------	---	----------------

◆Q8: アルハラ経験者(または、現場に居合わせた方)にお尋ねします。それはどんな会合での出来事ですか?(複数回答可)

クラブ、サークル等課外活動の飲み会	116人
友だちとの飲み会	49人
ゼミなどの飲み会	14人
バイト先での飲み会	17人

新入生歓迎合宿	1人
社内の飲み会	3人
打ち上げ	1人
クラス	2人
学科(全学年)での飲み会	1人
学生寮	1人
親から	1人
職場	5人

◆Q9: アルハラ経験者(または、現場に居合わせた方)にお尋ねします。そればどんな状況でしたか？(複数回答可)

飲酒の強要(上下関係・部の伝統・はやしたて・罰ゲームなどで飲まざるをえない状況にすること)	17人
イッキ飲ませ(場を盛り上げるために、イッキ飲みや早飲み競争などをさせること)	53人
意図的な酔いつぶし(酔いつぶすことを意図して、飲み会を行なうこと)	26人
飲めない人への配慮を欠くこと(本人の体質や意向を無視して飲酒を勧めること)	49人
酔ったうえで迷惑行為(酔ってからむごいこと、悪ふざけ、暴力、暴言、セクハラ)	68人

(その他回答)

- 「きつくなったらグラスに残ったのを口に含んで、トイレに行って胃に入ってる分も一緒に吐いてくればまだ飲めるから」といったことが先輩から「アドバイス」として言われます。お酒は吐くためのものではないのに。
- お酒が体質的に飲めない部下に対して、飲み会ごとに飲酒(イッキ)を何度も強要。イッキをさせる回数が日々増加しているように感じる。
- 笑いながら飲ませた奴を絶対に許さない!
- 今の学生の飲み会はほんとうに考えられないくらい、ひどいものです。ただ自分が入っているサークルが異常なかかりませんが、みんな脳がどうかしています。その原因はOBの影響ではないでしょうか？ OB=『大手商社社員』が会社でひどい目にあって、それを先輩の飲み会にもちこんでくるのだと思います。本当に人間が信じられなくなるレベルです。おそらく警察でも動いてくれるでしょう。普通に女性も参加する飲み会は平和でただコールがかかる程度ですが、男飲み会になると一変します。学生の男飲み会に対するアンケートとかとつたら、いろんな信じられないことが聞けるはずですよ。
- 体質的に合わないと言っても説教され、酔いつぶれるまで飲まされた。
- 殺すつもりで飲まされた。

◆Q10: アルハラを断ることができますか？ N=219

断れる: 85人(39%)	断れない: 78人(36%)	わからない: 56人(24%)	無回答: 5人(2%)
---------------	----------------	-----------------	-------------

◆Q11: Q10で「断れる」以外に回答した方にお尋ねします。なぜ断れないのですか？

周りのみんなも飲むので自分だけは断れない	33人
自分だけが断って空気を読めないと思われたくない	47人
後が怖い	23人
伝統や慣習行事と言われているので	27人
男だろ、俺の酒が飲めないのかななどを言われ、圧力を感じて断れない	8人
自分一人に、何人もの先輩たちが強要するので断れない	11人

(その他回答)

- 飲まないことで大きな損害を被るぐらいなら、飲むかも知れない。
- みんながすごく不機嫌になったり、のりが悪いなど言われて、嫌な思いをする。
- 相手が上司だからです。
- 誰も助けてくれなかった。
- まだ経験がないため、どうなるかわからない。

◆Q12: 今後、あなたはアルハラをしますか？

伝統や慣習行事なのだと思う	11人
その場の雰囲気、するかもしれない	71人
絶対にしない	181人
しないしなと思う	人
その他・無回答	34人

(その他回答)

- アルハラが嫌で部活を抜けたのでしない。
- 絶対にしないとは言いきれないが、できる限りしたくない。
- 大学は、お酒を飲ませるところなのですか？
- 僕は飲めない体質なので、すごく嫌でした。それで、アメリカの大学に進学しましたが、友達との飲み会の時は強要されるので断っていました。
- 自分からはしない。「イッキ飲み」の現場に居合わせた場合、危険性を総合的に判断し、「それは冗談抜きで危ない、本当に死ぬぞ」などと言ひ、止めたりする予定。

急性アルコール中毒など※による死者数

年	東京消防庁	イッキ飲み 防止連絡協議会 (報道、通報、大学生協連 発表の合計)	合計	
1983	データ不明	3	3	
1984	同上	3	3	
1985	同上	5	5	「イッキ！ イッキ！」流行語大賞に
1986	9	2	11	
1987	7	5	12	
1988	4	1	5	
1989	6	4	10	
1990	3	8	11	
1991	6	8	14	加来 聡さん死亡
1992	1	5	6	イッキ飲み被害110番を実施 イッキ飲み 防止連絡協議会発足
1993	2	4	6	第1回イッキ飲み防止キャンペーン
1994	0	3	3	第2回キャンペーン
1995	2	6	8	第3回キャンペーン
1996	0	3	3	第4回キャンペーン 刑事告発
1997	0	3	3	第5回キャンペーン
1998	0	2	2	第6回キャンペーン
1999	0	3	3	第7回キャンペーン
2000	0	4	4	第8回キャンペーン
2001	0	2	2	第9回キャンペーン
2002	0	1	1	第10回キャンペーン
2003	0	0	0	第11回キャンペーン
2004	0	1	1	第12回キャンペーン
2005	0	0	0	第13回キャンペーン
2006	0	2	2	第14回キャンペーン
2007	0	2	2	第15回キャンペーン
2008	0	5	5	第16回キャンペーン
2009	0	5	5	第17回キャンペーン
2010	0	4	4	第18回キャンペーン
2011	未発表	0	0	第19回キャンペーン
2012	未発表	3	3	第20回キャンペーン
合計	40	97	137	

※注:

「急性アルコール中毒など」とは、イッキ飲みなどの大量飲酒による急性アルコール中毒が直接の死因である場合に
加えて、飲酒後の転落死・水死などの事故を含みます。

また、東京消防庁のデータと、イッキ飲み防止連絡協議会のデータは、重複していません。